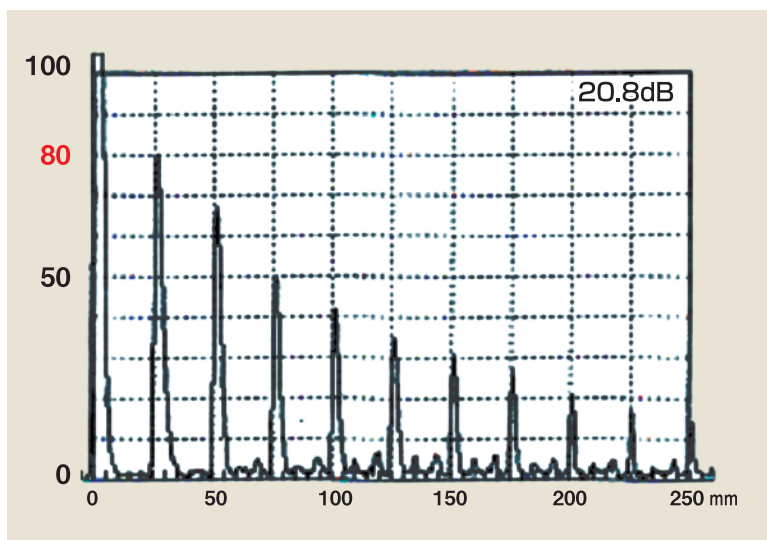


日本検査機器工業会では、手軽に持ち運びができ、現場での感度・距離補正・動作などを簡単にチェックできる小型・軽量の簡易チェックツールを製作いたしました。



- 超音波探傷器の日常性能チェック
- 超音波探傷器の現場での感度・距離チェック
- マルチチャンネル超音波探傷装置の動作チェック

本製品は、超音波振動子と鋼換算25mm相当のSUS材で構成されており、距離25mmの多重反射エコーを表示させ、超音波探傷器の動作・安定性・増幅直線性・探傷感度・時間軸のズレ等を現場で容易に確認できる簡易チェッカーです。



(例)垂直25mm(鋼換算)多重反射エコー

■仕様

★ 伝搬長さ	鋼25mm相当
★ コネクター	LEMO 1(ラッチ無し)
★ 外 寸	全長約60mm(コネクター含) 直径約20mm
★ 重 さ	約75g
★ ストラップ穴付き	
★ ケース付き	
★ 検査成績書付き	

検査証明書は
JIMAが発行致します。

※申し込み書は、JIMAホームページから
ダウンロードできます。

(社)日本検査機器工業会

Japan Inspection Instruments Manufacturers' Association

<http://www.jima.jp>



●使用方法

- 超音波探傷器の設定を一探法に切り替えてください。
- 超音波探傷器の受信コネクタ(Lemo 1)に、UP-Podを接続してください。
- 鋼換算で25mm間隔の繰り返し信号が画面に表示されるのを確認してください。
- 繰り返し信号の位置と数から、画面の測定範囲設定や感度設定値が適切であるかをチェックを行い、超音波探傷器の設定がおおよそ正しいかをチェックしてください。
- 頻繁に使用する設定では、信号位置と信号感度がおおよそどの程度か記録しておくこと、装置と設定の確認が素早くできます。
- 複数台の装置で比較して、個体差を確認したり、異常点検にも利用できます。

●取り扱い上のご注意

- ①本製品は、超音波探傷器の機能と設定の確認用簡易チェッカーです。本製品をJIS規格試験片の代用として使用することはできません。
- ②本製品を持ち運ぶ際は、ストラップ穴等を利用して首から下げるなどして絶対に落下しないように注意してください。
- ③本製品を、ぶつけたり・落下させたりした場合は破損する恐れがあります。取り扱いには十分に注意してください。
- ④本製品の使用・保管は、高温・多湿場所は避けてください。
- ⑤本製品を分解及び改造はしないでください。故障の原因となります。
- ⑥本製品の校正・修理はいたしません。
- ⑦本製品は、消耗品ですので保証はいたしません。
- ⑧本製品を目的以外に使用し機器が破損した場合、当工業会は責任を負いません。

